子どもに作ってあげたい おもちゃ
③「でんでんだいこ」

保育士 mami
（横浜都筑ニュータウンチャペル会員）

「でんでんだいこ」

日本に昔からある、おもちゃのでんでん太鼓。
現在はあまり目にしなくなりました。
和太鼓のように動物の皮を使って作ってあるようですが
風船を使うと自分でも作れます。
風船でも、なかなか良い音が出ますよ。

材料　テープの芯（紙管）、風船、割りばし（丸棒）、タコ糸、ビーズ、ビニールテープ

道具　カッター、キリまたは千枚通し、はさみ、ボンド

〈作り方〉

①テープの芯の幅が 2.5 ｃｍ以上の場合は 2.5 ｃｍに切る。

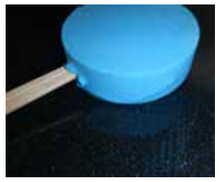
②芯の上下左右に穴をあける。上下は割りばし（丸棒）が通る大きさの穴、左右はタコ糸が通る大きさの穴

割りばし（丸棒）を差し込み、ゆるいようならボンドで固定する。

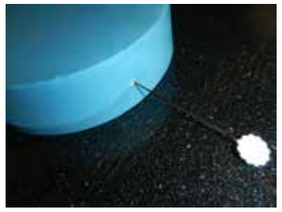
③左右の穴からタコ糸を通し割り箸に一周巻きつけてテープで固定する

④風船を膨らませて、風船の空気を抜きながら本体の 1/3 ほどに被せる。（写真は、たこ糸を中から通さない作り方のものです）

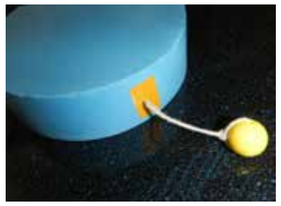
⑤風船の吹き口を切り、本体全部に被せる。



⑥針などを使いタコ糸を風船の外側に出して、ビーズを取り付ける。



⑦穴が裂けてこないようにビニールテープを貼っておくと良い。



作成ポイント

・割れにくい、破れにくい風船を選ぶと、強めに引っ張りながら被せることができます。
・テープの芯、紙管の直径が 10cm ほどの大きさになると、タコ糸を出すときに風船が破れやすくなります。その場合は中からたこ糸を通さず、ビーズをつけたたこ糸を外側にビニールテープで貼り付けることもできます。

応用編

ラップの芯を８ｃｍぐらいに切る。鈴やビーズを入れて、両端に風船を被せる。（輪ゴムで仮止め）ビニールテープなどで本止めして出来上がり。

私がまだ保育士の勉強をしている学生の頃、「子ども達は保育士（大人）の言葉、行動の全てを見ているから適当なことをしてはダメ」と複数の先生に言われたものです。子どもの成長に関わる者として、２つのことを心に決めました。１つ目は、子どもに尊敬・信頼してもらえるような言動をする。２つ目は、子どもに嫌われてもいいから、人としてやってはいけないこと・命に危険がある行為は本気で叱ろう。正直、難しいです。大人の都合で適当な対応をしてしまったり、疲れていてすぐに怒ってしまったり！できないことの方がたくさんで、改善点が多い。（笑）それでも、日々改善する努力をする、できることから行動し続ける姿を子どもに見せることに意味があると思っています。

年齢を問わず人は尊敬・信頼できる人の言うことなら素直に聴けるものです。子どもに尊敬・信頼される人でありたいです。

保育士 mami

保育の専門学校でおもちゃ作りを勉強する。
保育園の元保育士。現在は畑とコンピュータの仕事をしている。
今でも中高生に間違えられる 20 代独身。
人生の勉強中。